

# 学校紹介

諸塚村立 諸塚小学校

自然に寄り添い、自然と共に生きる「諸塚村」の美しい山々に囲まれた諸塚小学校は、1874年（明治7年）に家代八幡神楽殿にて開校。1960年（昭和35年）に諸塚村立諸塚小学校と改称し、立岩小学校（2006年）・七ツ山小学校（2021年）との統合を経て現在に至る創立148年の歴史ある学校です。令和4年度の児童数は48名、村の中心部に位置し運動公園と隣接しており、整備された広いグラウンドや屋内プールなどの教育環境が充実しています。校門横には大きなしだれ桜があり、毎年春には淡いピンク色の花を咲かせ、児童や地域の方々に親しまれています。諸塚幼稚園も併設されており、学校長は園長、教頭は副園長を兼務しています。運動会・持久走大会・避難訓練などの学校行事を幼稚園と合同で実施しており、日常的に幼小の連携や交流が盛んに行われ、毎日子どもたちの元気な声が響いています。



【出会いの森からの諸塚小学校】



【校門横のしだれ桜】

諸塚村は「ふるさとを愛し、ふるさとを誇りとする人と人がつながる互縁社会」の実現をめざし、人間愛にもとづいて、ともに学び、支え合う心を養うとともに、社会活動において実践する「ふれあい教育」を推進しています。平成22年度からは、幼稚園・小学校・中学校並びに地域住民が連携して、集合学習（M学習）ふるさと学習（C学習）幼小中連携教育（I学習）に取り組む、児童生徒の学力向上を図っています。この「ふれあい教育推進構想」のもと、本校は「ふるさとを愛し、自ら学び、たくましく生きる児童の育成」を学校教育目標に掲げ、小規模校の特色を生かした本校ならではの教育活動を進めつつ、一部教科担任制による複式指導の解消や個に応じたきめ細かな指導に取り組んでいます。また、児童・職員共通のスローガン「学び続け、成長し続ける諸塚小学校」のもと、学校組織全体で互いに刺激を受けながら、積極的な学び合いを通して、日々の授業改善や児童の学力向上に継続的に取り組んでいます。主題研究においては、

「主体的・対話的に学び、確かな学力を身につける授業の創造」を主題として、「対話」を通して児童が自分の考えを広げ深めることのできる授業実践を行っています。これら、知・徳・体の調和のとれた生きる力を育成するとともに、学校運営協議会を通じたコミュニティ・スクールの実現、地域とともに発展する学校、保護者や地域に信頼される活気ある学校をめざしています。



【諸塚小学校全景】